

至誠館大学

科目名	社会福祉援助技術現場実習Ⅰ			コード	1513	
英語表記	Social work practicumⅠ					
担当教員名	梅木 幹司・横山 順一			年度	平成28年度	
基準年次	3年次	開講期	後期	単位数	2	
授業形態		授業形式	実習	履修形態	選択	
授業概要						
社会福祉援助技術現場実習Ⅰでは、利用者理解を目的として実習を行う。実習担当教員と実習施設における実習指導者と十分に議論を重ね、体験・振り返り・日々の目標設定等を実行して、社会福祉士の援助技術について実践的に学習する。						
到達目標						
・実習施設の目的・役割・理念等について理解する。						
・利用者理解とその需要を把握することができる。						
利用者との関係形成やコミュニケーション等の技術を獲得する						
授業計画						
第1回	実習指導者による指導を受け、相談援助実習指導担当教員による巡回指導を受ける。					
第2回	「社会福祉援助技術現場実習Ⅰ」では、利用者理解を中心に以下のことについて学習する。					
第3回	・利用者やその関係者、施設・事業者・機関・団体等の職員、地域住民やボランティア等との基本的なコミュニケーションや					
第4回	人との付き合い方などの円滑な人間関係の形成					
第5回	・利用者理解とその需要把握					
第6回	・利用者やその関係者(家族・親族・友人等)との援助関係の形成					
第7回	・多職種連携をはじめとする支援におけるチームアプローチの実際					
第8回	・社会福祉士としての職業倫理、施設・事業者・機関・団体等の職員の就業などに関する規定への理解と組織の一員としての役割と責任への理解					
第9回						
第10回						
第11回						
第12回						
第13回						
第14回						
第15回						
評価方法及び基準		評価項目と割合(%)				
評価の配分は、実習評価表、自己評価表、実習日誌、実習計画書、実習のまとめ、実習報告書から総合的に評価する。実習中の態度次第では、実習を中断し評価の対象とはしない。		出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
		0	0	0	0	0
授業外学習		テキスト、教材				
		社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰの授業において適宜紹介する。必要がある場合は、個別指導時に紹介する。				
参考書		受講生へのメッセージ				
「ソーシャルワークハンドブック」山口福祉文化大学		社会福祉士指定科目。国家試験受験希望者は必修。実習中は、健康に十分に留意し、積極的な学習態度で臨むこと。実習担当教員とは、常に連携をとること。実習中は無断欠席は絶対に許されない。				
「社会福祉士 相談援助実習」中央法規出版						
キーワード						
利用者理解 職種理解 コミュニケーション 多職種連携 ニーズキャッチ						